

実用英語検定（英検）合格のすすめ

－ 9月からの模試での偏差値アップのために－

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 「英検」合格を目標に英語の勉強をすすめてもらいたい理由

開倫塾ではとても熱心に英検合格の指導にとり組んでいる、との評価を以前から頂いておりました。今年に入りまして以前にも増して次の3点で充実した取り組みをしています。

- ・英検受験の準会場としての資格登録
※3・4・5級の試験が開倫塾で受験できるようになりました。
(3級の面接テストを除く)
- ・試験1～2か月前の特別講習会の実施
※万全のカリキュラム・教材を使い、専門の先生が指導(本年度全額無料)
- ・受験料全額開倫塾負担で希望の級の試験を受験できる。

なぜこのように開倫塾は熱心に英検と、全塾あげて取り組んでいるのでしょうか。是非その理由を十分御理解頂きたいと思います。

(1)就職に役立ちます

履歴書に5級・4級・3級合格を書く人はまずいないでしょうが、「2級」なら立派に書けます。「英検2級合格」の人とそうでない人で他に余り差がなければ、たいがい合格者を企業は採用するようです。現代の企業で「英語」と無縁の世界にあるものはほとんど無いといってもよいからです。英語のできる人は本当に必要とされています。

※ただ、英検2級をもっているからといっても、その企業でバリバリ英語を使い働けるかというところではありません。自分の仕事が十分にわかり、つまり現場作業を完全にマスターし、その上で、英語を使った仕事が入ってくるものです。ですから、学校を出たあともたえず英語の勉強は継続しなければ、英語は使いものになりません。

(2)受験に役立ちます

英検2級をもっていると英語の試験が免除される学校さえあります(高卒以上)。英検〇級合格と内申書に書いてもらえます。それにも増して、英検と真剣に取り組むと、5級なら中1終了程度、4級なら中2終了程度、3級なら中3終了程度、2級なら高3終了程度まで、いやがおうでも学習を一通り終えなければなりません。たまたま合格をする人もいますが、大部分の人は真剣に自分の受験する学習範囲を終了させて、更に問題練習を十分つんでから受験しますから、か

なりの先取り学習になります。例えば中3の秋に3級に合格するということは、面接試験が終る11月末日までには中3の全範囲が終っていることを意味しますから、県立高校の入試にそのあと取り組む場合も非常に有利となります。3級に中3秋までに合格した人は、例年県立高校入試で高得点を英語で確保しているようです。

大学入試の場合も、英検2級に高3秋までに合格していれば、有名私立大の英語でもそれほど困らないものと思われます。

中1のときに5級、中2で4級、中3で3級、高3で2級と目標を立てコツコツとその学年のことを確実に修得、大量の問題練習をつみ重ねれば、非常に英語の入試に強い受験生が出来上がります。英語が得意科目になりますから、他の人が英語で苦しんでいる分、自分の不得意科目を勉強する心の余裕と時間が生まれます。英検合格は受験に非常に有利と言えます。

(3) 英語好きになります

私の個人的な体験ですが、私は中学3年生のときに英検3級に合格しました。英語で書かれた合格証を頂き、いたく感激したことが契機となり、英語が好きになり、英語の勉強に弾みがついたものです。同じような体験をなさった方が多数おられるとおききします。英検合格をきっかけに英語を好きになってもらいたい、そのために開倫塾は全塾をあげて英検と取り組んでいると言えます。

※英語をなぜ勉強しなければならないかという古典的な問題は、最近ほとんど議論されなくなりました。外国を訪れる日本人が年間1000万人を越える現代においては国際共通語としての英語の役割が、国民に認識されてきたからといえます。又、日本で生活するにも、例えば、ワープロやコンピューターも英語の知識があった方が取り扱いが格段と便利となっています。21世紀を生きる人はみな英語くらいは自由自在に使いこなせなければならないと実感します。

2. 英検に合格するには

開倫塾では英検指導の経験が10年あります。(開倫塾が出来て今年で10年目ですから、開倫塾は塾がはじまったその年から英検と取り組んできています)。できたら、開倫塾の指導通り英検の学習をすすめてもらいたいと思います。いつもお話しさせて頂くように次の公式が大事。

学習効果 = 学習時間 × 学習方法

勉強の絶対量(勉強時間)の確保とやり方が、本当に重要で英検合格の場合にもあてはまります。

(1) 開倫塾の英検対策授業には確実に全回出席して下さい。

開倫塾では英語科の先生方を中心に過去10年分以上の英検の出題傾向を分析、どのような問題が各級では出題されるのかを熟知しています。それを一定の期間内に塾生の皆様に十分理解してもらえるよう、万全のカリキュラムをたて、対策授業を組みます。宿題や確認テスト・予想問題等も用意してあります。いつ何をどのように学習すべきか研究しつくされていますので、是非お願いしたいのは、一度、受験すると決め、特別対策授業に参加の申し込みをし、許されたら、毎回休まず出席してほしいということです。欠席されると後のフォローが非常に大変ですので。

(2) 対策授業の予習と復習を確実に実施して下さい。

一度勉強したところをくりかえしくりかえし勉強して下さい。一度解いた問題を何十回も解いてみて下さい。一見無駄なように見えますが、復習こそが大事です。入試にもほとんど同じことが言えますが、英検はたえず同じような問題がくり返し出題されます。一度解いた問題を問題と解答ごと覚えこむと、その問題については、条件反射で、つまり余り考えずに解答できます。ということは、余った時間で少し難しい、つまり未知の問題に取り組めることになります。

※あらゆる「受験勉強のコツ」は意外とこの辺にあるのかも知れません。塾や学校の先生が高校入試の問題を各科とも4～5分でスラスラ解いてしまう(数学を除いて)のは、別に頭がよいからではなくて、今まで出題された問題と解答をほとんど覚えているからとっていいと思います。

「世の中のありとあらゆる受験で合格したかったら、今までにその試験で出題されたすべての問題とその解答を十分理解した上、正確に暗記することだ」といえます。

(3) 書き取りの練習もしてみよう。

英検では学校では習っていない単語が大量に出てきます。その一つ一つについて発音の仕方を習い、あきらめず書き取りの練習をして下さい。本当につらい作業で何のためにやらねばと思うかも知れませんが、英検のテキストや過去問題集に出てくるすべての単語を書けるようにして下さい。英語を使う人ならだれでも知っていて、知らなければ話にならないような単語ばかりだからです。3級までに出題された単語がすべて書ければ、高校に入りびっくりするほどよい成績がとれます。2級に出る単語がすべて書ければ、外国で暮らしても不自由しません。

※英検には書き取りが出題されませんが、くれぐれも書き取りの練習だけはなさして下さい。入試では書き取りができないと点がとれません。又、実際の生活でも英語が書けないと非常に不自由します。